

身長がでかいと損すること

catbusu

買い物編

身長がでかい人はいいねって言われる。確かにいいところはある。

けど実際は損することもたくさんある。

例えば、友達と買い物しにいった時に自分の服のサイズがない、靴のサイズがない。

店員にこの店で一番でかいサイズの靴はいくつですか？

これで、30センチ未満だったらそこで終わりである。

30センチでさえきついのにそれ未満はきつい。

ただ、でかいだけなのに、服のサイズが大きくなるにつれ、縦に伸びず横幅が広がるだけ。

3L、4Lになると縦はほとんどかわらず、横だけが広いだけである。

乗り物編

乗り物もかなり損する。

まず、電車。

電車は広告がかなり邪魔。

広告は顔のあたりに常にある。

広告がちらちら顔の当たる。

これは、かなりうざい。

また、満員電車で、降りようとすと押されてドアに頭をぶつける。

これは、かなり痛い。

次に、車だ。

軽自動車は運転するのに窮屈めっちゃせまい、足がハンドルにある。

深く座ると、車の天井に頭が触れる。

普通の自動車に後ろの席に座ると三人席なのに二人ぐらいで窮屈になってしまう。

次に、テーマパーク

身長制限があると思う。

身長100センチ以上などはよくあることだが、でかすぎて2メートル以上の方はご遠慮ください。など、たまに書いてある。

身長がでかいと乗れないものがあるのだ。

ジェットコースターで手を挙げて乗る人がいる、

それをでかい人がやったらどうなるか

まれにだが、コースターの鉄柱にあたりそうになる時もある。

バスもかなり不便だ。

まず、自分が停留所でまっているとバスがきます。

バスのサイドミラーが頭あたりにあります。

ぶつかりそうになる

危ないよね……

まあ、乗りますよね、

バスの天上につり革がついてますよね

頭に当たりますよね……

バスの後ろの方って天上低いですよ？

低いのに つり革ついてるし

天上が低いので、頭が当たります

いや、当たるの領域ではなく、頭をさげるかしゃがまないと後ろのほうでは立てないのです。

段差注意はよくバスの中にあるのに

頭上注意が少ない

たまに、低いことを忘れて頭ぶつける

乗り物にはいろいろ困ります。

日常編

雨が降るそしたら、みんなは傘をさす。

みんなが傘さした傘は、ちょうど顔のあたり、目のあたりである

傘が凶器になる。

恐ろしい

相手が自転車に乗って傘をさしてたらそれは……

かなりやばい

身長がでかいといろいろと損することが多い。

まとめ

結局でかいひとも損することが多いのです。

でかいのも大変なのです。